



新春を迎えて

蒲郡地区 三輪二郎

松の内も過ぎ、正月気分も抜けて平常の生活に戻りつつある今日この頃です。蒲郡地区老人クラブ会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。私達の蒲郡地区老人クラブも、皆様方からのご要望により会の名称が変わり栄宝会として新しく出発をすることになりました。私は常々思っているのですが、日本の少子高齢化は、急激な勢いで進展しており、私達高齢者は、この高齢化社会においていかに生き抜いていくかということです。

かし体は、おとろえ、シワは増え不安が心をかきむしります。老いて逝くということは、己に自覚を持たせる為に醜い姿にしていくのだらうか。ならば、心だけでも美しく老いたいのだと考えます。そこで私は、いつも老いを恐れず、老いは迎え討て、そして、自分らしく生き活きとして、光り輝くような人生を築いていきたいものだと考えています。さて、年々年を重ねるにつれ昔を懐かしむ心は募るばかりです。会員の皆様が折にふれ相寄り合つて昔を語り合い往年を振りかえつてみるのも、それなりに意味があり、また意義深いことであると思います。私たちの会の存在は、私共年を重ねた者同志の明日への活力を高める心の寄り所のある場であり、お互い仲良く手を取り合つていく大切な組織であると考えています。還暦も過ぎ共に老境に並ぶようになりました。

これから先が私共にとって本当に価値ある人生の歳月であると言うべきではないでしょうか。自分自身の考えと気力で体調を整え、ゆつたりと落ち着いて沈黙考して考え方や物の見方を改善して向上を図り、生活を深め生きがいを高めて、真に、ゆとりある人生を築きあげていくのはこれからだと思いません。甚だ、言葉足らずだとは思いますが新春にあたり所信の一端を述べてご挨拶とさせていただきます。

お互い長寿健康を

大塚地区 稲石二郎

平成十六年九月十五日、満七十五才で、敬老会のご招待をうけ、出席することができました。

昔、近くのおじいさんやおばあさん達が、敬老会に出席するのを見て、ずいぶん年寄りに見えましたが、今自分がその年になって元気で出席出来たことを、つくづく幸せに思う昨今です。

この頃は、毎週金曜日に海陽町で、グラウンド・ゴルフの練習に汗を流しています。海陽町では、新しいグラウンドや、施設ができて、大塚町の海岸もずいぶん変わりました。

した。古誌によりますと、次のように記されています。

『海岸線ノ出入トテハ 殆ンドナク、恰モ 弓状ヲナシ 丸山及ビ 産子山ニ於テ 幾分前方ニ突出シ 星越山ノ海岸ニ迫リタル所ニテ 再ビ突出シ 三谷海岸ニ連ル 海岸遠浅ニシテ 大船ノ寄泊スル所ナキモ 只 星越ノ 南海岸ニ至ル麓ハ 海底稍深ケレドモ 陸トノ交通不便ナレバ 従ツテ 発達セズ：』

しかし、現在は平成十四年四月オープンしたラグーナ蒲郡。夕方になると直径60メートルの観覧車から七色の光が出てすばらしい眺めです。

先日、生きがいセンターの事務職員さんが声をかけて下さったが、はじめは誰かわかりませんでした。話を聞いてるうちに、五十年前の教え子であることがわかり、走馬燈のように在りし日の事が浮かんできました。

去る十一月十二日、蒲郡市民会館で、小山明子氏の講演を聞きましたが、人間の生きかたについて、大変参考になりました。

長寿、健康こそ何にもかえがたい宝物であると思えます。